

## 日本産倍足類及び脣足類の分類學的研究\*

## 4. ババヤステ科の 1 新種と 1 新亞種

三 好 保 徳 (愛媛松山北高校) (1951 年 12 月 26 日受領)

ババヤステ科 (Leptodesmidae) に入る属として記載されたものは明らかに確認されていないものも数えると約 80 に及んでいる。これら多くの属の標徴の 1 つに基節桿 (Heftstab) の有無がとりあげられていて基節桿のある属とそれの無い属とがあるのだが若干の属 (例えば *Phlyzakiium*, *Leptodesmus*, *Alocodesmus* 等) では 1 属中に基節桿を有する種と有しない種とをふくんでいる。ATTEMPS によれば *Rhysodesmus* は基節桿を缺く属である (Das Tierreich, 69. Lieferung)。しかし高桑良興博士は本属に基節桿を有する *Rhysodesmus ikaoensis* TAKAKUWA を記載され標徴も「多くの種は基節桿を缺く」とされた。筆者もまた基節桿を有する 1 新種を本属のものとして次に記載するのであるがそれは全く基節桿の有無以外の重要な標徴において *Rhysodesmus* に入れるのを正しいと考えるからであり、ひいては高桑博士の説に従うものである。

1) *Rhysodesmus serrulatus* n.sp. (キタヤマアマビコヤステ)

雄の體長約 27mm, 體幅約 5mm. 體色アルコール標品では黄褐色, 後環節背板後縁に半月形の褐色紋あり。頭頂に 1 對の剛毛あり前頭部には殆ど毛なく前額部にはまばらに毛がある。側庇は普通に發達し略第 5 側庇より後角が 3 角形に突出し後方ほど著しく且側庇の前縁と後縁とは大體第 5 より極微細な鋸齒突起がある (第 1 圖, 3)。第 4 歩肢の胸板に長い棍棒狀の棘狀突起 1 對あり, 第 6 歩肢胸板には扁平な前方へ傾いた隆起 1 對が見られる。歩肢の基節にはその先端腹面に棘狀の突起はない。前腿節は第 9 歩肢からその先端腹面に棘狀突起が生じそれは後方の歩肢ほど著しい。尾節は圓錐形で多少壓平されその先端には 2 個の瘤狀隆起あり。

生殖肢: 基節は卵形で圓錐形の基節桿 (第 1 圖, Hst) ありその基部の内側には長大な 1 本の剛毛と數本の小剛毛を生じている。前腿節突起は長く扁平で基部ではなかなか幅が廣い。端枝は長く扁平で先端は急に細くなり鉤狀に曲つている, 尚そこに 1 個の小突起がある (第 1 圖, a)。前腿節突起の基部内側には小齒狀突起あり (第 1 圖, z)。端枝と前腿節突起とは略平行である。模式標品産地: 紀州北山狹。大阪市立自然科學博物館北山狹科學調査團採集によるもので模式標品は同博物館に保存されている。

2) *Rhysodesmus semicircularis hosidei* n. subsp. (ホシデアマビコヤステ)

體長約 53mm, 體幅 9mm, 後環節背板は暗綠色。觸角, 腹面及び歩肢は淡黄。側庇はよく發達し, その

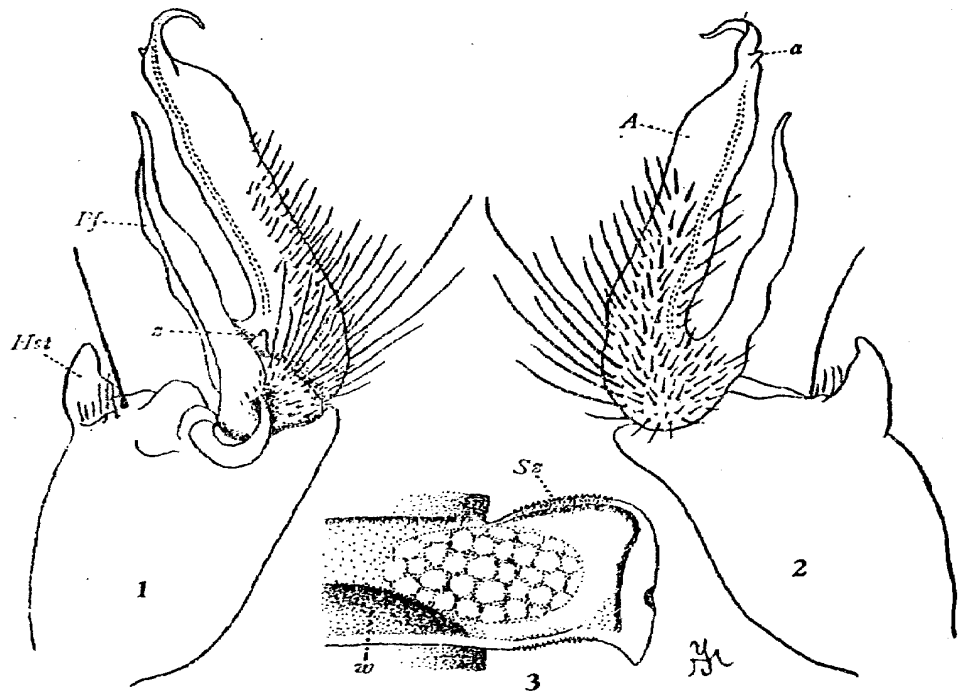


Fig.1. *Rhysodesmus serrulatus* n. sp.

\* この研究は文部省科學研究助成金による。

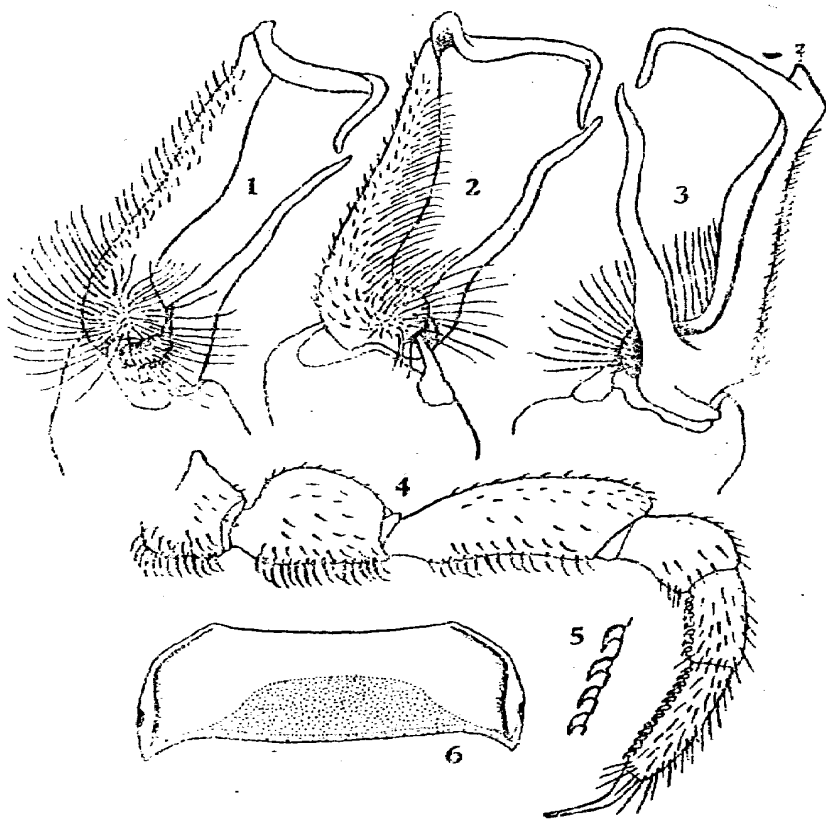


Fig. 2. *Rhysodesmus semicircularis hosidei* n. subsp.

図, 1, 2, 3)。模式標品産地：山口縣萩笠山。星出兵馬氏採集せらる。本亜種の模式標品は東京科學博物館に保存さる。

### Résumé

#### Beitrage zur Kenntniss japanischer Myriopoden

#### 4. Aufsatz: Ueber eine neue Art und eine neue Unterart von Diplopoda

YASUNORI MIYOSI (Matuyama Kita Koto-Gakko)

1. *Rhysodesmus serrulatus* n. sp. (Leptodesmidae) Länge ca. 27mm, Breite 5mm. Farbe gelblichbraun in Alkohol. Alle Metazoniten glatt und am Hinterrand findet man halbmondförmige braunliche Wappen. Hinterecke des Seitenflügels vom etwa 5. Segment an Zahnartig nach hinten vortretend, Vorder- und Hinterränder etwa vom 5. Seitenflügel an viele winzige Sägezähnen vorhanden. Beim ♂; Sternit des 4. Beinpaars mit 2 keuleförmigen Fortsätze und Sternit des 6. Beinpaars zwei niedrig nach vorn gerichtete Höcker vorhanden. Vom 7. Segment an weiter, befindet sich dornartige Kegel am Ende der Ventralseite von Präfemur des Beines. Gonopoden: Hüfte oval, mit Hüftstab, und neben ihm mehrere Borsten. Acropodit gerade, breit, und am Ende plötzlich verschmälert, wo sich auch ein Zähnchen befindet. Präfemoralfortsatz kürzer als das Acropodit, und noch endwärts allmählich verschmälert, einfach und an dem Grund gibt es kleinen Zahnfortsatz. Fundort: Kitayama-Kyo (Kii).

2. *Rhysodesmus semicircularis hosidei* n. subsp. Länge ca. 53mm, Breite 9mm. Metazonite dunkelgrün. Die Hinterecke vom 6.—9. Segment an zahnartig nach hinten vortretend, caudalwärts immer merklich. Metazoniten glatt und die vordere Hälfte der ca. 5.—15. Metazoniten erhöht sich etwas. Sterniten sind dem *R. semicircularis* TAKAKUWA ähnlich. Präfemur bei ♂, ungefähr vom Siebenten weiterhin, besitzt ventral am Ende einen Dorn. Gonopoden sind dem *R. semicircularis* ähnlich, aber doch Acropodit dieser Unterart in der Mitte rechtwinkelig gebogen, wo sich auch ein Zahnfortsatz befindet, und wieder am Ende stark gebogen. Fundort: Kasa-Yama (Yamaguti-Ken).

後角は第6—第9より3角形に尖り後方のもの程著しい。後環節の背板前半部は半月形の後半を残して多少膨んでいる(第2圖, 6)。雄の第4, 第5歩肢の胸板に多少瘤隆起らしきものあるにしても發達せず, *Rhysodesmus semicircularis* TAKAKUWAに似ている。歩肢の基節に突起なく前腿節では大體第7よりその先端腹側に棘状突起が始まる。雌の胸板にはまばらに毛あり大體第5歩肢の前腿節からその先端腹側に棘状突起あり。脛節と跗節との腹側では第3から大體第17歩肢の場合鋸齒状棘の列が見られる(第2圖, 4, 5)。

生殖肢: *Rhysodesmus semicircularis* TAKAKUWAの生殖肢に類似している。しかし端枝は中央部においてほぼ直角に曲り, そこに1つの齒状突起を具え, さらに端枝はその先端近くで直角に曲つている(第2